

# 幌延深地層研究センターについて

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）幌延深地層研究センターは、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発を行っています。

【図1】

## 1. 地下施設整備の状況【図1、現在：維持管理中】

【立坑掘削深度】東立坑380m、換気立坑380m、西立坑365m

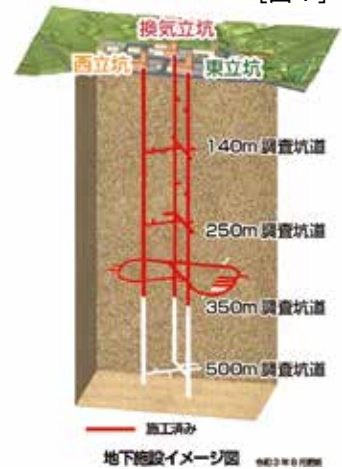
【水平坑道掘削長】深度140mの調査坑道186.1m  
 深度250mの調査坑道190.6m  
 深度350mの調査坑道757.1m

※令和3年度は、地下施設にて第3期中長期計画に掲げた次の3つの課題達成に向けた調査研究を進めています。

- (1) 実際の地質環境における人工バリアの適用性確認
- (2) 処分概念オプションの実証
- (3) 地殻変動に対する堆積岩の緩衝能力の検証

【稚内層深部（深度500m）における研究の実施について】

令和2年度の研究成果によって、深度500mと深度350mとは異なる性質の地層が存在していることがより確かになり、深度500mでの研究が必要と判断しました。令和4年度に掘削準備を行い、令和5年度に掘削を開始する予定です。



## 2. 施設見学について

### ① ゆめ地創館

【公開時間】午前9時～午後4時

【定休日】毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は水曜日）、  
 年末年始（12/29～1/3）

【来館者数】1,408名（令和3年4月～9月末）

### ② 地下施設見学会

見学者数：119人（令和3年4月～9月末）

例年4月から10月の第4日曜日に実施しており、地下を体験できる貴重な機会となっています。

令和4年度も予定しているので、ぜひご参加ください。

【地域の皆さまを対象とした施設見学会】

令和3年度は、幌延町および近隣市町村の皆さまを対象とした施設見学会を毎月第3水曜日に実施しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、5/16～6/20および8/26～9/30は臨時休館、施設見学会を中止しています。

## 3. ホームページ

幌延深地層研究センターのホームページでは、地下施設や調査研究の状況を適宜掲載しています。

◇ホームページURL：<https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/index.html>

## 4. 幌延深地層研究センターによる幌延町への経済効果

幌延深地層研究センターが平成13年に開所してから毎年、地元への経済効果についてお知らせしています。同センターおよび関係機関から確認をとった令和2年度の実績は以下のとおりです。

（単位：百万円）

職員および家族数	機構発注		JV・共同研究機関発注
	工事請負・業務委託・ 物品購入・借上・その他	社宅・寮賃貸借契約	工事請負・業務委託・ 物品購入・借上・その他
職員 57名 家族 27名	発注額 87	発注額 57	発注額 122
計 84名	発注合計額 265		

※このほか、同センターの地元雇用、従業員などの町内消費、町税収入、電源立地地域対策交付金などがあります。

※四捨五入により合計の数値は合いません。

## 5. 幌延深地層研究計画に関する協定および条例について

北海道、原子力機構、幌延町の三者で締結した「幌延町における深地層の研究に関する協定書（三者協定）」と幌延町議会の議決を経て施行した「深地層の研究の推進に関する条例（町条例）」を順守して研究を進めています。